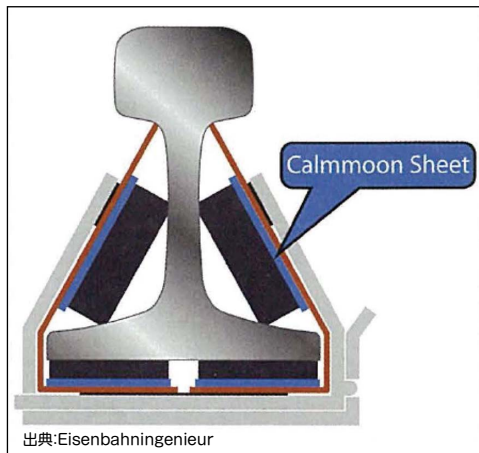


軌道 レール腹部の遮へいによる騒音低減

原題: Schienenstegabschirmung erfüllt die Vorgaben der Schall 03 [2012]
誌名: EI: Eisenbahningenieur Vol.65 No.8 (2014-8) p12-16

軌道沿線の騒音・振動の低減策として、レール腹部の遮へい材料が約40kmの区間に設置され、その効果が3dB程度であることが判明し、騒音指令Schall 03 (2012) を満足する有効な技術として認識された。騒音の発生を直接、音源部において減衰させるこの技術は、騒音解消に関する他の技術と連携して利用されるであろう。



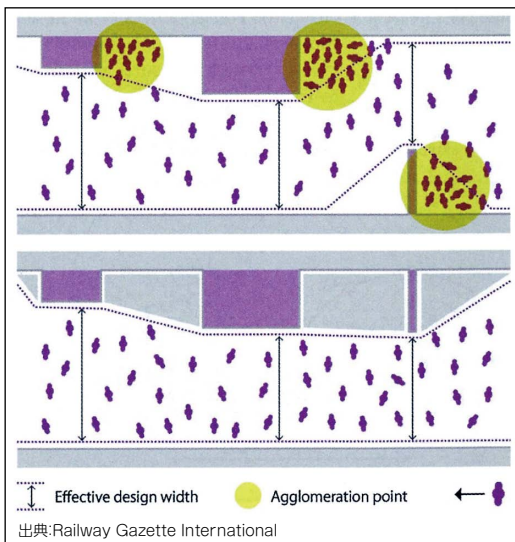
出典:Eisenbahningenieur

レールと遮へい材料の断面図

安全 駅の保安対策の技術と構造

原題: Engineering and architecture in station security
誌名: RGI: Railway Gazette International Vol.170 No.8 (2014-8) p44-47

EUではテロなどの不測の攻撃に対する駅の対策見直しと強化が進められている。イギリスでは (i) テロリストの確認・追跡, (ii) テロの予防, (iii) テロリストの攻撃からの防護, (iv) 攻撃の緩和の4点が主体である。キングスクロス駅の場合、火災と爆風、パニック対応、わかりやすい駅構内退避通路の構成、爆風の抑制設備、構造物の耐崩落性向上などの対策を優先的にを行っている。



出典:Railway Gazette International

歩行者の流れを妨げる渋滞箇所(黄色)の改善前(上)と改善後(下)

輸送 メキシコの鉄道旅客輸送を活性化させる

原題: Relaunching passenger trains
誌名: RGI: Railway Gazette International Vol.170 No.8 (2014-8) p32-33

メキシコの旅客鉄道は地下鉄やライトレールを除くと、2路線しか運行していない。これを改善するために3つのプロジェクトが進行している。1番目はメキシコシティと近郊都市を結ぶ57.7kmの電化路線の建設である。2番目はメキシコシティからQuerétaroまでの212kmを約1時間で結ぶ、最高速度300km/hの高速鉄道の建設である。3番目はユカタン半島を横断して観光の活性化を図る、地域経済への寄与を期待する路線の建設である。



出典:Railway Gazette International

中央メキシコの鉄道路線と速度300km/hの高速鉄道計画

構造物 コラルムトンネルの建設現場における救急と消火態勢

原題: Koralmunnel: Rettung und Brandschutz einer komplexen Tunnelbaustelle
誌名: EI: Eisenbahningenieur Vol.65 No.8 (2014-8) p46-49

オーストリア最大の工事に数えられるコラルムトンネルの建設は2011年に始まり、長い掘削区間と極めて複雑な工法のため、様々な高い要求が出された。そのため、救助や消火態勢などの特別な安全対策が求められ、それらが初めて建設契約書の一部となった。



出典:Eisenbahningenieur

救出車両(左)とストレッチャー収納用の特殊ロック室(右)

WRT (海外鉄道技術情報) は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。
⇒新刊案内、バックナンバーは総研HP (www.rtri.or.jp) をご覧ください。
⇒問合せ先(研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.jp